

人と桜、世代のリレー 黄金山さくらの会

今年1月26日、南区の黄金山で桜の木の手入れ作業が行われた。桜の名所として知られる黄金山。昭和34年に地元有志によって約4000本が植えられたが、その桜も弱り寿命を迎え、手入れや新たな植樹が必要になった。そこで平成17年、続く世代の地元有志によって立ち上げられたのが、「黄金山さくらの会」だ。

山頂で待っていると、会員の皆さんが三々五々やってくる。チラついてきた小雪がやんで日が差した。それでも、取材メモとカメラを探る手はかじかむ。集合時間の午前9時、作業前に会長の大原三千男さんからの説明と注意。「今日の作業は、テングス病の枝と枯れ枝の撤去。無理をせず、安全確認をしながら作業してください」。なるほど。皆さん、会の名前の入ったヘルメットをかぶっている。用意された高所作業車。ボランティア



▲高所作業の様子

とはいえ、大掛かりな作業への緊張感をうかがわせる。

作業開始。数人の男性が高所作業車とともに車で道を下り、高い木の枝の手入れをしながら少しずつ山頂へ向けて移動する。女性中心の別動隊は、もう少し上の道で手の届く低い枝の手入れをしながら沿道のゴミ拾い。高所作業車のゴンドラに2人の男性が乗り、ノコギリで枝を切り落

今回のらっくレポートは、南区の黄金山で次の時代に桜を残そうと地道な活動を続けている「黄金山さくらの会」取材しました。



▲作業前のミーティング

とす。ドサリと音を立てて地面に落ちる枝。整備された登山道は、人も車も通る。本当に安全確認が必要だ。他の枝と比較してほうきのようにたくさん枝分かれしている部分がある。「テングス病ですよ」と、教えられた。桜にとっては命にかかわる病気。谷

へ切り落とされた普通の枯れ枝は、土へ戻せる。しかし病気の枝は、急な斜面を降りて拾い集める。菌の飛散を防ぐため、焼却処分しないといけないからだ。

大原さんによると、この山の桜は現在約700本、7種類。近隣地区の子ども会や町内会に呼びかけて子どもたちが参加する植樹は、今年で5回目。2月に15本を植えるそうだ。3月上旬には、新たな品種2種類を2本ずつ植樹の予定。

「次の時代に、黄金山の桜がなくなるとは寂しい。少しでも助けられればうれしいですよ。子どもたちにも愛着を持ってもらい、桜を守ってほしい」と、控えめに語ってくださった。桜が休眠するこの寒い時期が、手入れに適しているそうだ。

寿命を見送り、新しい命に未来を託す。大きな自然の営みと重なる、人間の地道な努力。寒波に負けない熱意が見えた。今年も華やかに咲き誇る桜の季節を迎える。



▲黄金山の桜

レポーター 市民パブリシスト 小長素子

らっくコラム

Rashikku column

人の温もりとともに伝える食文化

「巻き寿司を巻くこの調理器具の名前を知っていますか？」

巻き簾を見せながら、小学校で子どもたちに質問したことがあります。「窓に掛けてある簾に似ている。」という声がありました。簾は暑い夏、昔から使われている日除けの道具として、現在も使われています。

しかし、巻き寿司を作る家庭は少なくなってきているのではないのでしょうか。見たり、使用したりしない道具の名前を答えることは困難です。

飽食の現代、昔から食べられてきた料理や郷土料理は失われつつあります。郷土料理はその地域で獲れた食材を活用して生まれた料理です。

広島で「七度洗えば鯛の味」と言われるのは、大きさが10cm程度のカクチイワシの刺身です。毎年6月10日から解禁となる広島の朝のいわし漁。いわし網の歴史は古く江戸時代から行われてきました。

漁法、加工は近代化されていますが、水揚げしたカクチイワシはいたみやすいので、すばやく、セリにかけられ食卓に届けられます。広島島の土地に居るからこそ味わえる料理といえるでしょう。

収穫されたカクチイワシは大部分がイリコに加工されます。以前は漁の時期には、浜にイリコが天日干しされ銀色に光っていたようですが、今では乾燥は機械化され、その光景は見ることがありません。

時代とともに、海の風景が変わり、その土地ならではの食も衰退しつつあります。

昔から食べられてきた料理には、昔の暮らしの様子が想像できたり、人の息づかいが聞こえてきたりするような、その料理にまつわる背景があります。また、各家庭において、親から子へと伝えられている料理もあるでしょう。これらの料理は味わってこそ、伝わっていくものです。

今こそ、住んでいる地域の歴史を、郷土料理を通して伝え残していく必要があると思います。

そのためには、広島で味わえる食の経験から、その地域に誇りをもつ子どもを育成し、その温もりを未来に繋ぐことが、私たち大人の果たすべき役割だと考えています。



Profile
広島女学院大学 人間生活学部
管理栄養学科
渡部 佳美 准教授
〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1
直通TEL.082-555-8267
代表TEL.082-228-0386 (内408)
FAX 082-227-4502
E-mail:ywata@gaines.hju.ac.jp

ようこそ！公民館へ

安佐北区内公民館

地域のみなさんの学習活動を応援する最も身近な施設「公民館」で活動しているグループをご紹介します。今号は、安佐北区内公民館で活動しているみなさんです。

①百人一首に親しむ会 (可部公民館)

可部公民館で百人一首の講座があり、受講者有志がグループを結成し、現在まで15年以上の歴史があります。10人程度でスタートした活動は、途中、会員が減少した時期もありましたが、遠方から参加される熱心な会員の支え等もあり、現在も10人近い会員を維持しています。



グループの目標は、毎年開かれる「ねんりんピック」への参加です。「ねんりんピック」では、協賛イベントの一つとして「競技かるた」の交流大会が開催されます。昨年は、仙台市で開催され、グループから6人が参加しました。「ねんりんピック」への参加が大きな生きがいとなっております。

出会う方々との交流も楽しいものです。百人一首はマングでも紹介され話題となっております。

②安来節同好会 (可部公民館)

「安来節同好会」は、可部公民館において月2回安来節の勉強会を行っています。

安来節は、神話の里、島根県の唄で日本三大民謡の一つでもあります。唄、三味線、絃、鼓、どじょうすくい踊り、五種目があります。私たちの会は、年齢制限がなく、子どもから大人まで毎回笑いの交流も楽しいです。ボランティアで地域イベントへ参加したり、高齢者福祉施設等への慰問活動を行っています。特に小学1・2年生が披露するどじょうすくい踊りは、かわいさ

り、また、地域の小学校や児童館でも取り組みがなされています。年齢に関係なく楽しめるので子どもたちにもっと接してほしいと思います。これからも、日本の伝統文化の継承を願って活動していきます。5月の連休に広島市で百人一首の全国大会も開かれます。ぜひこの機会に私たちのグループをお訪ねください。

③高陽劇団 (倉掛公民館)

「高陽劇団」は3年前、倉掛公民館で開催された「高陽地区4館ネットワーク事業生涯学習コーデイネーター養成講座」に集まった芝居好きの中高年の受講生により、昔の町名から「高陽劇団」と名付け、誕生しました。平均年齢65歳、13人で活動しています。熟年パワーを活かして大道具・小道具、何でも手作りで頑張っています。

「はなさかじいさん」を題材にした、いじわるじいさんが花咲村から倉掛にやって来て交流する話、高陽に住むがばいばあちゃんや孫と楽しく元気に暮らす話、定年退職した夫が男のロマンを求めて北海道へ旅

ありで大爆笑です。今後も観てくださる方に喜びと楽しみを届けていきたいと思っています。



④リトミックグループ (三入公民館)

立ち宣言する話、地域の防犯講座では、おばあちゃんが悪徳セールスマンに騙されそうになる話など身近な話題のオリジナル脚本で、これまで20回公演しました。3周年公演では初めての時代劇「嘘の母は何処に」に挑戦、江戸時代にタイムスリップしてお芝居を楽しんでいます。

「遊ぶ・学ぶ・仲間づくり」を指しながら、元気発進！うまく演じるより一生懸命さを観ていただき、演劇を通して地域の方々とふれあいの輪を広げたいと思っています。一人一人が役目を持ち「みんなが主役の「高陽劇団」です。

これからの予定は、4月20日(土)、午前11時半より、真亀公民館「けやきまつり」で公演します。ぜひお越しください。



等を育む音楽教育です。リトミックを通して子どもが喜び、楽しむ。また、親子のスキンシップを大切に、アットホームな雰囲気の中で活動しています。珍しい楽器の音色に耳をすませたり、ピアノにあわせリズム遊びをしたり、季節を感じられる遊びも取り入れながら、楽しい時間を過ごしています。親子でのリトミック活動を通して子どもたちの健やかな成長を願って活動しています。また、保護者間のコミュニケーションの場としても楽しめます。子どもさんと一緒に音楽に合わせて体を動かしてみませんか？興味のある方は、活動日でしたらいつでも見学にいらしてください。無料体験もできますよ。

ぜひ一度、親子で遊びに来てみてください。

グループへのお問合せについては、各公民館へお願いします。

- ①② 可部公民館 ☎082-814-4031
- ③ 倉掛公民館 ☎082-845-1710
- ④ 三入公民館 ☎082-818-1418

安佐北区内公民館

情報の森

生涯学習

シティカレッジ(前期)

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民に活かすことを目的に、学習機会を提供します。

会場 まちづくり市民交流プラザ
申込方法 (1)電話、ファックス、来所により、①希望講座名または大学名②氏名(ふりがな)③住所④連絡先(電話番号、ファックス番号)をお知らせください。先着順により定員になり次第締め切ります。
 ※各講座とも全回参加が前提です。
 ※郵送(はがき等)による受付は行っておりません。
 (2)受付時間：月～金(祝日を除く)午前8時半から午後5時15分まで。(来所の場合は午前9時半から)。土曜日・日曜日・祝日は閉所しています。
 (3)申込開始日が講座によって異なります。申込開始日まではお受

けできませんので、左記の表をご確認ください。
申込・問合せ (財)広島市未来都市創造財団ひとまちネットワーク部 管理課事業係
 〒730-0036 中区袋町6番36号
 ☎082-5441-5335
 ☎082-5441-5611

[シティカレッジ(前期)]			
大学	安田女子大学	日本赤十字広島看護大学	広島大学
講座名	時空をこえた<こころ>と<ことば>	がんを知って、がんと共に生きる	経済開発と国際協力
日時	5/25・6/1 6/8・6/15 6/22 土曜(全5回) 10:00～12:00	6/6・6/13 6/20・6/27 木曜(全4回) 18:00～19:30	6/8・6/15 6/22・6/29 土曜(全8回・1日2講座) ①13:30～15:00 ②15:20～16:50
対象 人員	高校生、大学生、 社会人 60人	社会人 50人	高校生、大学生、 社会人 40人
受講料	無料	無料	無料
申込	4月15日から	5月1日から	5月1日から

募集

瀬戸内海フォトコンテスト

瀬戸内海環境保全特別措置法が制定されて、今年の10月で40年目を迎えます。豊かで美しい「里海」としての再生を目指して、瀬戸内海における環境保全の重要性と文化や景観等多様な地域資源を持つ瀬戸内海の魅力を広く発信するため「瀬戸内海フォトコンテスト」として写真作品を募集します。

大学	広島女学院大学	広島国際学院大学	広島国際大学	広島文教女子大学
講座名	「私」の中の「子ども」	情報文化の新しい課題	誰もが自分らしく生きられる社会へ	現代の子どもの育ちについて考える
日時	7/4・7/11 7/18・7/25 8/1 木曜(全5回) 18:00～19:30	9/21・9/28 10/5・10/12 10/19・10/26 土曜(全6回) 10:30～12:00	9/21・9/28 10/5・10/12 10/19 土曜(全5回) 13:00～14:30	9/28・10/5 10/12・10/19 土曜(全4回) 10:00～11:30
対象 人員	大学生、社会人 50人	高校生、大学生、 社会人 50人	社会人 50人	社会人 60人
受講料	無料	無料	無料	無料
申込	6月3日から	8月15日から	8月15日から	8月15日から

イベント

安倍圭子マリンバコンサート in 広島

国際的なマリンバ(木琴の一種)の演奏家であり作曲家でもある安倍圭子氏を招き、第1部では広島ジュニアマリンバアンサンブルとの共演で、チャルダッシュなどなじみ深い曲を、第2部では打楽器奏者2人、マリンバ奏者6人が共演し、安倍圭子の世界的に評価の高い作品を紹介いたします。

日時 4月14日(日)午後4時開演(午後3時30分開場)
場所 広島県民文化センター(中区大手町二丁目5番3号)
入場料 前売3500円(全席自由、当日4000円)
主な曲目 ザ・ウェーブ・インプレッションズⅡ、祭りの太鼓など
問合せ ☎082-271-1477(浅田)

第36回ガルボ魅惑の映画音楽 西部劇の世界

多くの人々を魅了した西部劇の名作の数々には、とても印象的で今でも多くの人々に愛されている名曲がたくさんあります。今回の「魅惑の映画音楽」では、「大いなる西部」「荒野の七人」「シエン」など素敵な西部劇の映画音楽を特集します。



▲昨年の公開審査会

ひと・まち広島未来づくりファンドH.M.(ふむふむ) 第10回助成団体最終活動発表会&第11回助成応募団体公開審査会

市民のみなさんの自主的なまちづくり活動を助成する基金H.M.(ふむふむ)。広島の未来をつくる魅力あふれる活動の成果発表やこれから新たに取組もうとしている提案事業の審査を行います。

日時 4月14日(日)午後6時開演(午後5時30分開場)
場所 広島市西区民文化センター(西区横川新町6番1号)
入場料 1000円(小学生以下は500円)
問合せ ガルボ事務局 ☎082-832-2160

助成

平成25年度下期文化活動助成事業を6月に募集します

市民のみなさんの自主的な文化活動の促進を図るため、団体または個人の文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成します。
対象となる事業 音楽、美術、演劇、民俗芸能などの文化活動を行っている団体または個人が行う日ごろの活動の成果を発表する事業(出版物の発行は除く)で次に掲げる要件に該当するもの

- ①事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されること
 - ②非営利の事業であること
 - ③政治または宗教活動と関わりのない事業であること
- 対象団体**
- ①文化活動の場が主として広島市内にあること
 - ②個人、または団体の構成員の8割以上が広島市内に居住または

- ③団体の所在地、または連絡先が広島市内にあること
 - ④目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項について定めがあること
 - ⑤国、地方公共団体および企業等が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人でないこと
 - ⑥非営利団体であること(講師が受講料を募り受講料・会費を徴収する教室等は助成対象外)
- 対象事業の実施期間** 10月1日(平成26年3月31日(月))
助成金額 助成の対象となる経費の2分の1以内で1件の助成額が20万円以内
応募方法 所定の申請書に必要事項をご記入のうえ、左記お問い合わせ先提出してください。
 ※詳細は下記ホームページをご覧ください。
受付期間 6月1日(土)～30日(日)(消印有効)
 ※窓口受付時間 月～金(祝日を除く)の午前9時～午後5時
申込・問合せ 財団法人広島市未来都市創造財団 事業課
 〒730-00812
 広島市中区加古町4-17
 ☎082-244-0750
 ☎082-244-0246

お知らせ

広島市NPO活動支援融資制度をご利用ください。

広島市では、社会貢献活動を行うNPO法人を支援するため、必要な資金を低利で融資する制度を実施しています。

- 利用要件** 次の全ての条件に該当するNPO法人
- ①広島市内に「主たる事務所」を有していること
 - ②NPO法の規定による事業報告書などの所轄庁への提出義務を怠っていないこと
 - ③NPO法の規定による改善命令を受けていないこと
 - ④市税を滞納していないこと
 - ⑤暴力団関係者でないこと
 - ⑥取扱金融機関の融資審査基準に適合し、返済が確実にできる見込みがあること
- 資金使途** NPO法人の定款に定める「特定非営利活動に係る事業」で、市内において実施する事業に必要な運転資金及び設備資金
- 融資額** 1法人500万円以内
融資期間 運転資金：3年以内、設備資金：7年以内
貸出利率 有担保：年1.7%、無担保：年2.1%(※平成24年度実績)
担保及び保証人 取扱金融機関の

URL <http://www.city.hiroshima.jp/bunka/>



[平成 25 年度実施予定の主催事業 (概要)]

相談・コーディネート事業	余暇活用、市民活動支援、社会人の学習支援など市民活動や生涯学習に関する相談会を実施します。
市民との協働プログラム	市民活動団体と協働で市民生活に根ざした課題に関する講座・イベントを企画、実施し、団体の育成と活動支援を行います。
まちづくり学校	まちづくり活動を進めていくうえで必要な知識や技術を体系的に段階的に学ぶ講座を実施します。
市民活動団体マネジメント講座	市民活動団体の組織づくり・運営を支援するために「活動資金」や「組織運営」について学ぶ講座を実施します。
市民活動団体広報スキルアップ講座	市民活動への理解を促進するために広報力を高める実践的な講座を実施します。
今日からはじめる市民活動	市民活動やボランティアについての理解を深め、市民活動を始めるきっかけづくりとなる講座を実施します。
プレゼンテーション講座	助成申請や事業提案において役立つプレゼンテーション力の向上を図る講座を実施します。
地域発!まちづくりワークショップ	公民館と連携・協力し、地域に根ざした課題の解決に向けてのワークショップを実施します。
まちかどサロン	生涯学習・まちづくり活動やボランティア活動などの日頃の成果を発表する場を提供します。
パソコン講座	ワードやエクセル、画像処理やホームページ作成などパソコンの基本操作から応用的な内容の講座を実施します。
パソコンサロン	ICTボランティアの協力により、自由にパソコンに触れ、基本的な操作を体験できる場を提供します。

広島市市民活動保険制度

市民活動中に事故にあった場合、補償金が給付されます。保険料の負担・事前の登録は不要です。

対象 市民(市外居住者も含む)により自主的に組織され、広島市内に活動の本拠地を置いて計画的に市民活動を行う市民活動団体等に属し、活動を行う方(活動を行う団体の指導者・スタッフ、奉仕性のある活動を直接的に実践する参加者)が対象となります。賠償責任については団体も対象になります。

対象となる活動(市民活動)

- ・ 広く公共の利益を目的とした自主的・自発的な活動であること。
- ・ 活動が計画的に行われていること。
- ・ 無報酬で行っていること(実費弁償は無報酬とみなす)
- ・ 日本国内における活動であること
- ・ 政治、宗教や営利を目的とした活動でないこと
- ・ 自助的な活動や懇親を目的とした活動でないこと
- ・ 職場などで行事として行う活動でないこと
- ・ 危険度の高い活動でないこと

補償対象

賠償責任：活動者の過失により、他人の身体・財物に損害を与え、被害者から損害賠償を求められ、法律上の賠償責任を負う場合。

傷害：急激かつ偶然な外来の事故で、活動者が死亡または負傷した場合。

た場合。具体的な補償内容、事後発生時の手続きについては、左記の問合せ先でご確認ください。

問合せ 広島市市民局市民活動推進課まちづくり支援係
 (☎082・504・2113)

もしくは、最寄りの区役所地域起こし推進課

「まちづくり支援センター」をご利用ください。

広島市では、地域特性を生かした個性豊かで魅力と活力のあるまちづくりを推進するため、各区役所地域起こし推進課内に「まちづくり支援センター」を設置し、地域のみなさんの主体的かつ継続的な活動を支援する取組を行っています。

- 主なサポート内容**
- ①まちづくり活動に関する相談・助言
 - ②まちづくり人材講座等の開催
 - ③まちづくり活動に必要な物品(アンブ・マイクセット、テント、プロジェクトなど)の無償貸出し
 - ④まちづくり活動初期の講師派遣や活動物品提供
- 問合せ** 各区まちづくり支援センター(地域起こし推進課内)
- 中区 (☎082・504・2546)
 東区 (☎082・568・7705)

- 南区 (☎082・250・8935)
 西区 (☎082・532・0927)
 安佐南区 (☎082・831・4926)
 安佐北区 (☎082・819・3905)
 安芸区 (☎082・821・4905)
 佐伯区 (☎082・943・9705)
- 広島市市民局市民活動推進課
 まちづくり支援係
 (☎082・504・2677)



プラザ 主催事業のご案内

年に一度のまちづくりの祭典「まちづくり市民交流フェスタ」

今年も5月18日(土)・19日(日)に「まちづくり市民交流フェスタ」を開催します。「ぶらっとときんさい愛 Loveフェスタ」をはじめ、笑顔、見つける楽しさ」をテーマにまちづくりボランティア人材バンクの登録者や広島市内の市民活動団体が展示、ステージ発表で日頃の活動の成果を発表します。さらに、食品バザー、映画上映、子ども体験コーナーなど大人から子どもまで楽しめる盛りだくさんの内容を企画中です。みなさんのご来場をお待ちしております。

日時 5月18日(土)午前11時～午後5時、19日(日)午前11時～午後4時



▲バザーの様子

これから交流プラザで実施する予定の主催事業のお知らせです。実施時期などの詳細は、交流プラザのホームページ、ちらしや「市民と市政」で随時お知らせします。みなさんの参加をお待ちしています。

「プラザ主催事業のご案内」に関するお問合せは…

まちづくり市民交流プラザ
 〒730-0036
 広島市中区袋町6番36号
 ☎082・545・3911
 ☎082・545・3838



▲昨年はみんなで協力して巨大な折り鶴を折りました!

ユーストピアからのお知らせ

ユーストピア会員募集中!

「ユーストピア」とは、市内3か所にある**勤労青少年ホーム**の愛称です。各種講座や交流行事、サークル活動などを通じて、仲間づくり、キャリアアップもできる、働く若者たちのための施設です。広島市内に在住もしくは通勤している35歳以下の方なら、どなたでも会員になれます。会員登録は無料です!



仕事やライフプランに悩んだら…

ユーストピアでは、専門カウンセラーがマンツーマンで相談に応じます。相談料は無料です!(要予約)

会議や研修会場、趣味の活動の場をお探ですか?

ユーストピアは、勤労青少年以外の方も有料で利用できます!

お近くのユーストピアへお気軽におたずねください!

ユーストピア中央
 (中央勤労青少年ホーム)
 広島市中区八丁堀3-2
 TEL.082-222-2513

ユーストピア安佐
 (安佐勤労青少年ホーム)
 広島市安佐南区大町東3-25-12
 TEL.082-879-1512

ユーストピア佐伯
 (佐伯勤労青少年ホーム)
 広島市佐伯区新宮苑11-43
 TEL.082-922-8424